

精神障害のある親と暮らす子どもへの支援を考える 養護教諭等対象ワークショップ



日時 2018年8月9日(木) 13:00～16:30

場所 埼玉県立大学 (予定: 研修棟 305)

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地 東武スカイツリーライン「せんげん台駅」西口からバス 5分 (徒歩 20分)

対象 養護教諭、さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
など、このテーマに関心のある学校関係者 定員 60名

参加費 無料 (事前登録が必要です)

申込 「Peatix」のページから登録

もしくはメールで kidslifefuture@gmail.com まで
(名前、所属、職種、連絡先メールアドレスをそえて)

主催 TEAM KIDS LIFE FUTURE / 共催 養護実践事例検討会



Peatix のページ
「精神障害のある親」
で検索

精神障害のある親と暮らす子どもへの支援の在り方について、一緒に考えてみませんか

絵本朗読

1. 「ボクのせいかもしれない...お母さんがうつ病になったの」 細尾ちあき ※作者による絵本の朗読

講義

2. 精神障害のある親と暮らす学齢期の子どもの実態～埼玉県公立小中学校の養護教諭を対象とした調査報告 長沼葉月
3. 子どもと家族を支える社会福祉サービスあれこれ 長沼葉月
4. 精神障害のある親と暮らした子どもの体験から～親と子をサポートする会の取組・研究から見てきたこと 土田幸子・牛場裕治

ワーク

5. 対話のためのスペースを作る：絵本の音読体験から考える
6. グループワーク：いま行っていること・これからできること

ファシリテーター 吉岡幸子 (帝京科学大学)・土田幸子 (鈴鹿医療科学大学)・牛場裕治 (総合心療センターひなが)・
上原美子 (埼玉県立大学)・細尾ちあき (ぷるすあるは)・北野陽子 (ぷるすあるは)・長沼葉月 (首都大学東京)

※ワークショップ参加特典

ブルスアルハ発行「家族のこころの病気を子どもに伝える絵本」シリーズ①②③
「生きる冒険地図 (非売品)」贈呈



※本ワークショップは科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 研究課題番号 16K04149 研究代表者長沼葉月 (首都大学東京))
を受けて行います。ご参加いただいた場合には、任意ですが研修前後と研修終了 3 カ月後のアンケート調査へのご協力
をお願い致します。



科研費
KAKENHI

